

市政を問う

一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、26人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

- (政和) = 政和会
- (公明) = 市議会公明党
- (フォ) = フォーラム小平
- (共産) = 日本共産党小平市議団
- (生ネ) = 生活者ネットワーク
- (虹ひ) = 虹とひかり
- (みな) = みんなの党小平の会

行政一般

生産緑地指定地区内の固定資産税課税上の取り扱いについて

小野こういち議員(政和) ①農道の課税上の取り扱い

②生産緑地指定地区内の農業関連家屋の認定の判断基準は

市長 ①国や市が所有している農道は地方税法により非課税だが、個人所有の農道は農作業のために使用されている場合は農地として、それ以外の場合は現況に応じて評価し、課税している。

②土地に定着して建造されていること、屋根等で外界から遮断された空間を有すること、目的とする作業等の用に供しうる状態であることが整えば、固定資産課税上の家屋と認定できる。

証明書自動交付機の更新に丁寧な対応をするべきである

滝口幸一議員(フォ) ①更新に際し市民に事前に周知したか。

②設備更新を行った後、市民にどのような対応をしているか。

市長 ①今回はリース期間満了による機種入れかえで、基本的な操作等に大幅な変更がないため事前に周知はしなかった。②不明な点がある場合は丁寧に説明し、戸惑っていると思われる



証明書自動交付機 (市役所1階)

れる人に対しては声をかけるように心がけている。

住民情報の更新、把握を着実に行うべきである

滝口幸一議員(フォ) ①住居表示等が実施された場合、民生委員等はそれをどう把握するか。

②有事の際に即時対応できるよう民生委員等の担当者が変わった場合は迅速かつ確実な引き継ぎが必要だが、現在はどうか。

市長 ①小平消防署と小平警察署には新旧対照表等により情報提供して台帳等を更新してもらい、民生委員には市の担当課から必要な情報を提供している。②民生委員については新任研修の際に個別に担当地区の引き継ぎをしており、小平消防署及び小平警察署では組織の中で確実に行われていると聞いている。

指定管理者の指定手続に地域貢献の評価と地域協働の視点を

末廣 進議員(共産) ①指定管理者の指定の手続等に関する条例に地域貢献の評価と地域で活動する事業者を支援する項目を追加する必要があるかどうか。

②小平市シルバー人材センターを地域貢献の視点等からいかに位置づけているか。

市長 ①規定を追加する予定はないが、実績や地域雇用等の評価項目を施設の特長に応じて追加できる仕組みを検討している。②長年培ってきた知識等を生かし、希薄になってきた地域コミュニティ機能を補完する面等に今後の役割が求められる。

公契約条例は地域産業の雇用につながるのか

細谷 正議員(共産) ①総合評価方式の評価項目では、賃金や雇用をどう確保しているか。

②公契約条例を制定して賃金を改善できないか。

市長 ①賃金の確保策として、工事請負契約では国が定める労働単価を、業務委託契約では支払実績等を考慮した賃金をそれぞれ基準とし、それ以上の場合に加点。雇用の確保策として、工事労働者の50%以上が市民であること、または市民等を新規に雇用する場合に加点している。②法解釈や条例制定の効果性など課題も多く、他自治体の状況も踏まえ研究を重ねていく。

市民の感謝の気持ちを行政が受ける制度を実現できないか

吉池たかゆき議員(みな) ①市民の声を行政が受ける現行の制度では、市職員等への感謝の声は寄せられていないか。

②感謝の気持ちを行政が受ける制度を実現できないか。

市長 ①市長への手紙等で接遇等に関する好意的な意見を受けており、これが担当職員に伝えられ職務の励みになっている。②市職員は適切な行政サービスを提供するよう常に努力しており、これは公務員としての本来あるべき姿でもあるため、特別な制度は考えていない。

タブレット端末を生かした施策の推進を

磯山 亮議員(政和) ①タブレット端末を利用することで高齢者に提供できるサービスは、

②教育においてはどのようなサービスが提供できるか。

市長 ①見守りサービスや行政情報の提供、買い物支援、健康管理、電子書籍の配信などが考えられる。

②各種機能が1台に備わり持ち運びが容易なので、さまざまな場所で画像や資料が見られること等が考えられる。

インターネットを活用して選挙を進めよう

磯山 亮議員(政和) ①投票率を上げるための取り組みは。

②平成25年4月に行われる小平市長選挙で、選挙公報をホームページに掲載できないか。

選挙管理委員会事務局長 ①平成24年度は新たな取り組みとして小学校2校で模擬投票授業を実施した。また、市内の大学や大学生と連携して選挙K発プロジェクトを立ち上げ、嘉悦大学の学園祭で討論会を実施し、若者による若者への投票の働きかけ等の啓発活動を行った。

市長 ②掲載する方向で調整し、準備を進めている。

2012年12月の都知事及び衆議院議員選挙の事務について

石毛航太郎議員(フォ) ①今回の選挙の準備で工夫した点は。

②期日前投票を踏まえ、投票日当日に向けて改善したことは。選挙管理委員会事務局長 ①入場整理券を送付する際に各選挙の期日前投票の期間を知らせるチラシを入れたほか、今回から入場整理券の裏面に期日前投票宣誓書兼請求書を印刷し期日前投票時の利便性の向上を図った。②案内人数を増員し、投票し

やすい状況を整えたほか、誤った投票が起こらないよう事務の流れについて指導を徹底した。

小平市民の希望ある未来について小平市が目指すべきもの

永田政弘議員(政和) 市制施行50年を踏まえて今後の小平市像をどうシミュレートするのか。

市長 平成32年度までは第三次長期総合計画基本構想に基づき事業を実施し、その後は新たな将来都市像を掲げて市政を進めていくことになる。超高齢社会の進展等により将来の長期的な予測は難しいが、安定的、継続的に市民の暮らしを守ることはもとより、市の担うべき役割を見定め、未来への希望を共有しながら持続可能なまちづくりを進める必要があると考える。

情報発信する力として「コミュニケーション活用できないか」

立花隆一議員(公明) ①コミュニケーションは地域性を生かすユニティFMは地域性を生かしたきめ細やかな情報発信メディアだが、周辺エリアでの状況は。

②高齢者への情報伝達手段としてコミュニケーションは有効なツールと考えるが、市の見解は。市長 ①FM西東京を聞くことができる範囲として、市内では東部地域を中心に約50%がカバーされている。②高齢者にとってラジオは比較的身近な情報機器であり、日常的なコミュニケーション手段としても有効と認識している。

アベノミクスと今後の小平市の財政運営について

宮寺賢一議員(政和) ①国の大胆な金融政策、機動的な財政

政策、民間投資を喚起する成長戦略が市の財政に与える影響は。②今後の公債費の削減により生じる余剰財源は、老朽化する公共施設の更新等の公共投資に振り向けるべきではないか。市長 ①直接的には国の財政政策の受け皿事業の実施、間接的には景気回復や雇用情勢の改善等による税収の増が期待できる。②公共施設の老朽化への対応は重要課題の一つだが、特に使途を制約することなく、広く行政需要に的確に応えるための財源として活用していきたい。

庁内組織は公正・公平・適切に運用されているか

堀 浩治議員(政和) ①市制施行47周年記念式典で元教育長が特別功労者として表彰されると思われていたがされなかった。

表彰等審査会の審査前に表彰者の候補者名簿から名前が削除されたのは誰の指示であったか。②本人の情報開示請求に沿って非該当の理由を伝えるべきでは。市長 ①現時点での表彰は適当ではないと市長として総合的に判断した。②個人情報保護条例の規定に基づき、保有個人情報開示請求に対し適正に処理した。

多様化する市民ニーズに合った行政サービス

幸田昌之議員(公明) ①健康福祉事務センター等が本庁舎と別棟であることの解決策は。

②多様化する市民ニーズに応えるために考えていることは。市長 ①受付業務に工夫を行うとともに組織間の連携を図り、

公共施設



健康福祉事務センター

公共施設

公共施設のアシリティマネジメントが必要ではないか

立花隆一議員(公明) ①老朽化した公共施設をそのまま建てかえて更新した場合、今後20年間でかかる費用はいくらか。

②公共施設のアシリティマネジメントに対する市の見解は。市長 ①試算では約430億円の費用が必要で、年度平均に換算すると約21億5千万円になる。②昭和40年代以降の人口増加に伴って建設した公共施設の老朽化が進んでおり、今後は既存施設の有効活用を含め施設サービスの効果を見きわめた施設配置や運営が必要と認識している。※ファシリティマネジメントとは公共施設の最適化を目指す取り組みのこと。